

## 「基礎研修Ⅰ、開催中です」

今年度より新生涯研修制度がスタートし、基礎課程である基礎研修Ⅰを開催しています。基礎研修Ⅰは、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的とし、事前課題・集合研修Ⅰ・中間課題・集合研修Ⅱという合計45時間以上のプログラムになっています。

今年度は、20名の受講者の参加をいただき、受講者の方は集合研修Ⅰを平成24年10月14日（日）に終え、今現在平成25年3月10日（日）に開催される集合研修Ⅱに向け、中間課題に取り組まれています。

基礎研修Ⅰのプログラム内容	
プログラム	内容等
①事前課題	・社会福祉士の役割を考える。（レポート）
②集合研修Ⅰ	【講義&演習】 ・社会福祉士のあゆみ・日本社会福祉士会、山口県社会福祉士会の組織・生涯研修制度 ・社会福祉士としての専門性について考える
③中間課題	①社会福祉士共通基盤の理解。（レポート） ②倫理綱領、行動規範の理解。（レポート） ③所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ。 所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について1600字程度にまとめてください。 ④他領域のソーシャルワーク実践について学ぶ。 他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を所属組織以外の施設や事業所（独立型を含む）で活躍している当会会員の先輩社会福祉士から話を聞き、他領域の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、2400字程度にまとめてください。（2ヶ所以上）
④集合研修Ⅱ	【講義&演習】 ・社会福祉士共通基盤の理解・倫理綱領・行動規範の理解 ・社会福祉士の倫理綱領の現場適用

この度、中間課題③④をまとめるにあたり、現在所属先がないなどで作成できない場合や他領域の社会福祉士から話を聞く機会がない方をサポートする機会として、平成24年12月16日（日）13時30分から山口県身体障害者福祉センターで、社会福祉士から話を聞ける場を設けました。

実施方法は、講義形式ではなく、1対1若しくは1対2程度でのインタビュー形式で、話を聞く時間を1回30分程度とし、受講者の方が話を聞いてみたい領域の社会福祉士さんに話を聞く方法で実施しました。

＊ ＊ 受講者から出た質問 ＊ ＊

- ソーシャルワーカーとして働く上でのやりがいについて
- ソーシャルワーカーとして働く上でつらいと感じることについて
- 組織におけるソーシャルワーカーの位置づけについて
- ソーシャルワーカーとして組織の中で認めてもらうための働きかけについて
- なぜ今の勤務先で働こうと思ったのか。
- 組織の中で少数のソーシャルワーカーとして働く上でのジレンマについて
- 所属組織の規模について

などなど

多領域の社会福祉士さんにご協力いただいたことで、受講者の方は日頃関わりがない領域や自分の興味のある領域に関して話を伺うことが出来き、社会福祉士としてのスキルアップ、またネットワーク構築の機会になったと思います。

受講者の皆様が仕事をしながら、基礎研修Ⅰのプログラムに取り組むことは大変なことと思いますが、山口県社会福祉士会は応援しています。

(報告者：一般社団法人山口県社会福祉士会事務局 吉村真)

**ご協力いただきました社会福祉士さんです。**

- ① 合同会社 結い後見事務所 讃井康一
- ② 子どもと親のサポートセンター 岩金俊充
- ③ 宇部リハビリテーション病院 安光洋平
- ④ 支援センターぴゅありんく 伊藤孝司
- ⑤ 元萩市救護施設 伊勢嶋英子
- ⑥ 介護老人保健施設なんわ荘 中上涼平
- ⑦ 長門総合病院 池永泰典
- ⑧ 老人保健施設春の里 佐伯宜典
- ⑨ 山口県立こころの医療センター 橋本達哉

ご協力有難うございました。